

芸能

皮脂除去 健やかな髪へ

いまでこそ「頭皮ケア」と「育毛」は切っても切れない間柄とされているが、その関係にいち早く着目し、商品をアピールしてきたのがパントロン・ワン株式会社。「ヘルシンキ・フォーミュラ スカルプシャンプー」と「薬用スカルプコンディショナー」＝写真＝は多くの著名人が長年愛用している。

私が同品を取材したのは20年前。同社の女性社員の頭髪が黒々としていたのを覚えている。

使い方は、まずコンディショナーを手のひらに数滴とって指先で頭皮の気になるところを中

心にマッサージ。その後、お湯で洗い流してシャンプーし、タオルで水分を軽く拭き取った後、またコンディショナーを頭皮になじませるのだ。独特の香りが苦手だという声もあるが、皮脂汚れを「乳化」させ、頭皮にダメージを与えることなく、酸化した皮脂を除去し、頭皮のコンディションを向上。結果、健やかな髪を生やしてくれる商品を夫婦で使っているという有名な人も多いのである。

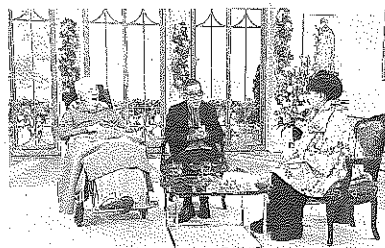
実は同品は、頭皮の皮脂汚れが脱毛の原因であることをいち早く突き止めたフィンランドのヘルシンキ大学の研究により製品化。世界で販売され続けているのだ。



シャンプーやコンディショナー以外にも、傷んだ髪を効果的に補修するヘアパックや頭皮マッサージに便利なスクラビングブラシ、失われたハリや髪のパサパサを改善する主に女性向けのシャンプーやトリートメントなど、商品群は充実している。

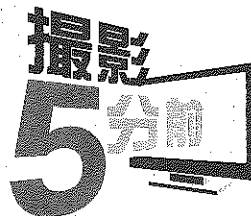
「脱毛の原因の一つは、酸化した皮脂だった」という論理に、改めて納得。

(放送作家、コラムニスト)



2月4日の放送で登場した永六輔(左)と大橋巨泉

「2人とも、そんな最高の状態ではないのに来てくださって、私、涙が出るくらいうれしいと思っています」。番組冒頭で黒柳徹子さんがこう言った放送がありました。出演者は永六輔さんと大橋巨泉さん。日本のテレビを創成期から支えてきた人物です。これまで別々に何度も来てくださった2人。特に徹子さんと大の親友の永さんは「徹子の部屋」が始まった1976年から39回という最多出演



テレビ朝日 田原敦子

大御所2人が出演 チャック感激

記録を持つ。永さんと巨泉さんは若いころから交流があり、ディレクターが「いつか2人一緒に」と長年温めてきた企画が実現したのである。収録当日。パーキンソン病を患う永さんは目が覚めるような真っ赤のトレーナーを着て車いすで登場。一生懸命発してくれる言葉の内容はともないうるさ。咽喉がなんども乗り越えた巨泉さんも昨年腸閉塞で入院したものの、「巨泉節」は健在でした。

でも実は、この40年の節目にぜひいらして頂きたい、とそれぞれにお願いした時のお返事は「体調が良かったら当日スタジオに行きます」。撮影前日も「明日はどうなる？」と祈る気持ちの私たち。当日、2人の姿が見えた時には安堵の音が漏れました。

懐かしい話に花を咲かせた収録の後、徹子さんは「今日は来てくれてホントにうれしかったわ!」と握手。「だって、チャック(黒柳さんの愛称)に呼ばれたら、死んでたっていくさ」と笑う2人。心から頭が下がりました。

(プロデューサー)

ここを紹介する物件の入札は次の通り行われます。
 ●入札期間 平成28年3月2日～3月9日迄
 ●開札期日 平成28年3月16日午前10時
 ●特別売却期間 平成28年3月24日～3月31日迄

横浜地裁 川崎支部の

インターネット提供システムのお知らせ
 ●横浜地方裁判所川崎支部では、インターネット(BIT)を通じて「物件情報」を公開しています。

1 ショーン東京(03-70-00-3333)

楽の反こ耳